

令和5年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	8 東京都台東区立老人福祉センター	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R3.4.1	～ R8.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう活動の場を提供する。
(2)	[所在地] 東京都台東区東上野2-25-14 [規模] 床面積 (㎡) 延2,130.80の内1,311.48 RC造5階建 (1,2階、一部・3,4,5階部分) 浴室、機能訓練室、茶華道室、教養室、談話室、囲碁将棋室など
(3)	[委託事業] ことぶき教室 (カラオケや麻雀等の教室)、敬老の集い (ことぶき教室受講生の発表会)、健康づくり事業 (口腔機能向上教室等)、個人・団体への教養室等の開放、防災訓練 等 [自主事業] 各種サロン (事前申込不要で気軽に参加できる活動の場。活動内容: ①健康体操、脳トレ、口腔ケア等の健康づくり②囲碁や麻雀等の趣味の活動)、地域・世代間交流事業 等
(4)	[利用者] 区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日 9時から21時まで
(6)	[人員体制] 9名 (内 訳) 常勤: 4名、短時間職員: 5名 (内、常勤1名、短時間職員2名は「かがやき長寿ひろば入谷事業」と兼務) (前年増減) 3名増 (常勤職員+1、短時間職員+3、臨時職員-1)

2. 予算決算		R3予算	R3決算	R4予算	R4決算
収入	委託料 (指定管理料)	51,257,000	51,257,000	51,257,000	51,257,000
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入 (受託事業収入)	2,868,000	20,523,232	17,944,000	17,913,000
	計	54,125,000	71,780,232	69,201,000	69,170,000
支出	人件費	33,334,000	28,553,692	45,283,000	40,616,217
	光熱水費	2,400,000	3,419,427	2,838,000	4,161,412
	維持管理費 (委託料・賃借料)	6,449,000	4,386,683	7,427,000	6,781,523
	修繕費	127,000	509,585	25,000	675,873
	事業費	0	0	0	0
	その他支出 (講師謝礼等)	11,815,000	6,765,508	13,628,000	11,215,503
計	54,125,000	43,634,895	69,201,000	63,450,528	
収支			28,145,337		5,719,472

3. 活動指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
健康づくり (介護予防) 事業実施回数	回	72	56	43	72
ことぶき教室実施回数	回	180	190	53	180

4. 成果指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数	人	8,500	4,191	3,622	8,462
健康づくり (介護予防) 事業、ことぶき教室参加者数	人	2,400	1,686	732	2,331

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

新型コロナの影響により事業実施が半分程度しかできなかった令和3年度に比べ、予定どおり事業を実施したことで事業実施回数・利用者ともに大きく増加した。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	各種法令の遵守、計画書等の提出は適切になされている。また、施設の運営にあたっては随時区との連絡調整を行っており、新型コロナの影響下における事業運営の在り方、個別事業の実施方法の見直し等について、十分に協議しながら施設の運営に努めた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	臨時休館もなく、感染対策を実施しながら予定どおりの事業運営を行った。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	建物・設備の維持管理については必要に応じて専門業者に委託の上、適切に実施されている。また、新型コロナの影響下における継続的なサービス実施のため、施設内及び備品の消毒や定期的な換気なども実施している。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	利用者からの意見を基に、随時講座の内容の見直しを行っている。また、講座の内容を個別に精査し感染リスクの低いものについては利用人数の緩和を検討する等、利用者の満足度向上に努めている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	新型コロナの影響により6か月超の期間休館となっていた前年度と比べて各種支出が増加しており、光熱水費については予算額を超過した。全体の収支は当初予算の範囲内に収まっており、計画的な予算執行ができている。
(6) 優れた取り組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
3 点	新規事業として、台東区芸術文化財団から研究員を講師として招き、「江戸の町と火災」についての講座を実施、8名の参加があった。参加者からの反響も良好であり、次年度以降も継続実施を予定している。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (100 / 110点)	【所見】 年間を通し臨時休館は行わず、新型コロナ対策を行いながら、事業を実施した。例年通りの行事や講座の実施に加え、台東区芸術文化財団との共同事業として研究員による講座の企画・実施を行う等、新たな取り組みも積極的に行っている。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 施設における収支について、全体として収支はプラスであったが、光熱水費の高騰や小破修繕の増により一部予算額に対し決算額が上回った。昨今の光熱水費の変動や施設の老朽化の状況も見越して、適切な予算計画を行うことが重要である。
--------------------------------	---	--